

APS/生産スケジューリングシステム PlanWizard  
最新版 Ver21.0 までのバージョンアップ詳細履歴

[株式会社ウィザードシステム研究所](#)

弊社ユーザー様のご要望等を踏まえながら、常に最新の生産スケジューリング技術を開発しております。

Ver 21.0 4 Ver21.0 (H19.5.7)

(追加・改良)

- (1) 「グラフ - エディタ - オーダーエディタ」コマンドを追加。  
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。
- (2) マクロコマンド「E\_ORDER\_OPEN」を追加  
書式： E\_ORDER\_OPEN <省略可：引数1 引数2 引数3 引数4>  
引数1：ウィンドウ X 座標、引数2：ウィンドウ Y 座標、引数3：幅、引数4：高さ  
「グラフ - エディタ - オーダーエディタ」コマンドを実行します。
- (3) ガントチャートの編集メニューへ以下を追加  
「ジャンプ - オーダーエディタ」  
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。
- (4) ガントチャートの編集メニュー「編集 - 生産パターン変更...」コマンドの処理変更。  
変更する代替生産パターンに現在の中間体が存在する場合は、そのシリーズは残すようにした。
- (5) 原材料マスターの「在庫保存不可」フィールドの選択肢へ「不可 (Type6)」を追加  
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。
- (6) 原材料マスターの「生成製品」テーブルフィールドへ「比率」フィールドを追加  
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。
- (7) クリティカルの改良  
クリティカルの前後工程でロット数が違う場合。
- (8) Access インターフェースツールの改良。  
カレンダーやコメント等の標準インタフェースの取込みに対応した。  
後日、最新モジュール、及び、詳細資料をお送り致します。

Ver 21.0 3 Ver21.0 4 (H19.5.1)

(追加・改良)

- (1) 以下のコマンドを追加  
「ユーティリティ - ホスト - カレンダー情報取込 (マスター単位ファイル) ...」  
現在選択のシミュレーションのカレンダーへマスター単位情報格納ファイルから  
カレンダーを取り込みます。
- (2) 以下のコマンドを追加  
「ユーティリティ - ホスト - カレンダー情報転送 (マスター単位ファイル) ...」  
現在選択のシミュレーションのカレンダーからマスター単位情報格納ファイルへ  
カレンダーを転送します。
- (3) 以下のコマンドを追加

- 「ユーティリティ - ホスト - コメント情報取込 (マスター単位ファイル) ...」  
現在選択のシミュレーションへマスター単位情報格納ファイルから  
コメント情報を取り込みます。
- (4) 以下のコマンドを追加  
「ユーティリティ - ホスト - コメント情報転送 (マスター単位ファイル) ...」  
現在選択のシミュレーションのコメント情報からマスター単位情報格納ファイルへ  
コメントを転送します。
- (5) マクロコマンド「E\_MASTER\_OPEN」を追加  
書式: E\_MASTER\_OPEN <省略可: 引数 1 引数 2 引数 3 引数 4>  
引数 1: ウィンドウ X 座標、引数 2: ウィンドウ Y 座標、引数 3: 幅、引数 4: 高さ  
「グラフ - エディタ - マスター統合エディタ」コマンドを実行します。
- (6) マクロコマンド「READ\_CAL2」を追加  
書式: READ\_CAL2  
「ユーティリティ - ホスト - カレンダー情報取込 (マスター単位ファイル) ...」を  
実行します。
- (7) マクロコマンド「WRITE\_CAL2」を追加  
書式: WRITE\_CAL2  
「ユーティリティ - ホスト - カレンダー情報転送 (マスター単位ファイル) ...」を  
実行します。
- (8) マクロコマンド「READ\_COMMENT2」を追加  
書式: READ\_COMMENT 2  
「ユーティリティ - ホスト - コメント情報取込 (マスター単位ファイル) ...」を  
実行します。
- (9) マクロコマンド「WRITE\_COMMENT2」を追加  
書式: WRITE\_COMMENT2  
「ユーティリティ - ホスト - コメント情報転送 (マスター単位ファイル) ...」を  
実行します。
- (10) COM 機能「IpcTable」へ以下のメソッドを追加  
・GetRecordByInfo strInfo  
strInfo で指定された情報によりレコードを取得します。  
通常は、使用しないで下さい。

Ver 21.0 2 Ver21.0 3 (H19.4.25)

(追加・改良)

- (1) パターンエディタの下部ヘフォームを追加。  
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。

Ver 21.0 1 Ver21.0 2 (H19.4.17)

(追加・改良)

- (1) 「グラフ - エディタ - マスター統合エディタ」コマンドを追加。  
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。
- (2) ガントチャートの編集メニューへ以下を追加

- 「ジャンプ - パターンエディタ」  
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。
- (3) ガントチャートの編集メニューへ以下を追加  
「ジャンプ - マスター統合エディタ」  
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。
- (4) 以下のマクロコマンドを追加  
「ORDER\_ORDER\_AND\_SERIES\_AND\_LOT\_NUM\_RECAL」  
書式：ORDER\_ORDER\_AND\_SERIES\_AND\_LOT\_NUM\_RECAL 引数 1  
引数 1：レコード番号  
「生産計画 - オーダー - オーダー・シリーズ・ロット数量再計算...」コマンドを実行します。  
引数 1 にレコード番号ではなく、「 - 9999」を設定した場合、  
オーダーリストで抽出表示されている全レコードに対して処理を実行します。

Ver 21.0 Ver21.0 1 (H19.4.10)

- (追加・改良)
- (1) 製品マスターのバリデーション強化 (レベル 2)  
一連ラインのバリデーションを強化しました。
- (2) テーブルウィンドウの編集メニューへ「フィールド表示設定...」コマンドを追加  
フィールドの表示 / 非表示、及び、フィールド幅の設定を行います。

Ver20.861 Ver21.0 (H19.4.3)

- (追加・改良)
- (1) 初期設定「その他 2」タブへ「ロット No(N)桁数のデフォルト」を追加。  
中間体マスターでレコードを追加した場合のロット No(N)桁数のデフォルトを設定します。

Ver20.851 Ver20.861 (H19.3.28)

- (追加・改良)
- (1) セット製品マスターへ「対象工程」フィールド (テーブル型) を追加  
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送りいたします。
- (2) 時間帯毎 & 個別管理リソースガントチャートで、時間が連続する場合は、  
1 件で表示するように改良した。ただし、見かけのみで操作は詳細情報単位で行う。
- (3) 時間帯毎 & 個別管理リソースジョブ割当てリストで、時間が連続する場合は、  
1 件で出力するように改良した。
- (4) 設備カレンダー、リソースカレンダー、個別管理リソースカレンダーでグループ化されているものに関しては、自分のカレンダーを変更することにより、  
グループ全体のシフトパターンを変更できるように改良した。  
また、リソースカレンダー、及び、個別管理リソースカレンダーに関しては、  
選択しているリソースに所属メンバーが設定されている場合は、人数設定等の変更はできないようにした。併せて、個々のメンバー側の方で変更した各種内容が、  
連動してグループ側で反映されるようにし、グループとメンバー間のカレンダーで

より整合性を保つようにした。ただし、所属メンバーを変更した場合は、通常通り、「リソースカレンダーの再作成」を実行する必要があります。

Ver20.841 Ver20.851 (H19.3.27)

(追加・改良)

- (1) ガントチャート編集メニューへ「ヒストグラムジャンプ」ポップアップメニューを追加
- (2) ガントチャート編集メニューへ以下を追加  
「ヒストグラムジャンプ - リソース稼働率グラフ」  
リソース稼働率グラフへジャンプします。
- (3) ガントチャート編集メニューへ以下を追加  
「ヒストグラムジャンプ - リソース稼働率グラフ」  
リソース稼働率グラフへジャンプします。
- (4) ガントチャート編集メニューへ以下を追加  
「ヒストグラムジャンプ - ワークセンタカレンダー」  
選択しているワークセンタのワークセンタカレンダーへジャンプします。
- (5) ガントチャート編集メニューへ以下を追加  
「ヒストグラムジャンプ - リソースカレンダー」  
選択しているリソースのリソースカレンダーへジャンプします。
- (6) ガントチャート編集メニューの「情報表示 - 設備割付情報表示」のダイアログへ納期遅れ情報等を追加。

Ver20.835 Ver20.841 (H19.3.20)

(追加・改良)

- (1) スケジューリング優先順位へ「オーダーコード&最遅仕上日」を追加  
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送りいたします。
- (2) 以下のコマンドを追加  
「生産計画 - オーダー - 一部引当て原材料在庫の使い切りオーダーの作成...」  
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送りいたします。
- (3) マクロコマンド「ORDER\_ORDER\_CREATE\_BY\_MATERIAL\_STOCK」を追加  
書式：ORDER\_ORDER\_CREATE\_BY\_MATERIAL\_STOCK  
「生産計画 - オーダー - 一部引当て原材料在庫の使い切りオーダーの作成...」  
コマンドを実行します。
- (4) 「生産計画 - 備考データの設定...」の処理の変更。  
現状は、全データがスケジューリングされていないと実行されないが、  
新規では、バリデーションエラーがなければ実効できるようにした。  
ヒント：一番最初のスケジューリング実行前にも行えるようになります。  
この場合は、スケジューリング情報は指定しないで下さい。  
スケジューリング実行前に行う場合は、各種マスターの備考をセットする  
場合等に限定して使用して下さい。

Ver20.768 Ver20.835 (H19.3.14)

(追加・改良)

- ( 1 ) スケジューリング優先順位へ「製品&最遅仕上日」を追加  
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送りいたします。
- ( 2 ) スケジューリング優先順位へ「中間体グループ&最遅仕上日」を追加  
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送りいたします。
- ( 3 ) スケジューリング優先順位へ「仕様 01 & 最遅仕上日」を追加  
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送りいたします。
- ( 4 ) スケジューリング優先順位へ「仕様 02 & 最遅仕上日」を追加  
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送りいたします。
- ( 5 ) スケジューリング優先順位へ「仕様 03 & 最遅仕上日」を追加  
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送りいたします。
- ( 6 ) スケジューリング優先順位へ「仕様 04 & 最遅仕上日」を追加  
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送りいたします。
- ( 7 ) スケジューリング優先順位へ「仕様 05 & 最遅仕上日」を追加  
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送りいたします。
- ( 8 ) スケジューリング優先順位へ「仕様 06 & 最遅仕上日」を追加  
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送りいたします。
- ( 9 ) スケジューリング優先順位へ「仕様 07 & 最遅仕上日」を追加  
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送りいたします。
- ( 10 ) スケジューリング優先順位へ「仕様 08 & 最遅仕上日」を追加  
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送りいたします。
- ( 11 ) スケジューリング優先順位へ「仕様 09 & 最遅仕上日」を追加  
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送りいたします。
- ( 12 ) スケジューリング優先順位へ「仕様 10 & 最遅仕上日」を追加  
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送りいたします。
- ( 13 ) スケジューリング優先順位へ「オーダー生産開始日」を追加  
オーダーの生産開始日の年月日時分秒を比較します。
- ( 14 ) スケジューリング優先順位へ「オーダー生産終了日」を追加  
オーダーの生産終了日の年月日時分秒を比較します。
- ( 15 ) スケジューリング優先順位へ「オーダー先頭工程生産開始日」を追加  
オーダーの先頭工程の生産開始日の年月日時分秒を比較します。
- ( 16 ) スケジューリング優先順位へ「オーダー先頭工程生産終了日」を追加  
オーダーの先頭工程の生産終了日の年月日時分秒を比較します。

Ver20.764 Ver20.768 ( H19.3.7 )

( 追加・改良 )

- ( 1 ) マクロコマンド「CHANGE\_MAIN\_PRODUCT\_PATTERN」を追加  
書式：CHANGE\_MAIN\_PRODUCT\_PATTERN 引数 1 引数 2  
引数 1：製品マスターのレコード番号  
引数 2：該当する製品の代替生産パターンセルテーブルのレコード番号  
「ユーティリティ - その他 - テーブル - メイン生産パターンの変更...」コマンドを実行します。
- ( 2 ) マクロコマンド「CREATE\_AUTO\_COMMENT」を追加

書式：CREATE\_AUTO\_COMMENT

「ユーティリティ - その他 - 自動生成 - コメント自動生成...」コマンドを実行します。

(3) マクロコマンド「E\_PATTERN\_OPEN」を追加

書式：E\_PATTERN\_OPEN <省略可：引数1 引数2 引数3 引数4>

引数1：ウィンドウ X 座標、引数2：ウィンドウ Y 座標、引数3：幅、引数4：高さ  
「グラフ - エディタ - パターンエディタ」コマンドを実行します。

(4) マクロコマンド「SERIES\_SET\_PRIORITY」を追加

書式：SERIES\_SET\_PRIORITY 引数1 引数2 引数3 引数4

引数1：使用ルール (0,1,2,...)

スケジューリング画面の呼出画面の行数を指定します。

「0」の場合は、最後に実行したスケジューリングルールが使用されます。

引数2：初期値

引数3：刻み幅

引数4：対象シリーズ (「0」：全シリーズ、「1」：表示 (抽出) されているシリーズ)

Ver20.732 Ver20.764 (H19.2.28)

(追加・改良)

(1) 設備マスターへ「カスタマイズ」フィールド (文字型) を追加

しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送りいたします。

(2) 「生産計画 - シリーズ - シリーズ優先順位設定...」コマンドの追加

しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送りいたします。

Ver20.700 Ver20.732 (H19.2.22)

(追加・改良)

(1) 個別管理リソースマスターへ「所属メンバー」フィールド (テーブル型) を追加

しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送りいたします。

Ver20.648 Ver20.700 (H19.2.14)

(追加・改良)

(1) 工程名称マスターへ「生産設備情報」フィールド (テーブル型) を追加

しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送りいたします。

Ver20.448 Ver20.648 (H19.2.7)

(追加・改良)

(1) 「グラフ - エディタ」ポップアップメニューを追加

(2) 「グラフ - エディタ - パターンエディタ」メニューを追加

しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送りいたします。

Ver20.345 Ver20.448 (H19.2.2)

(追加・改良)

(1) 設備マスターへ「所属メンバー」フィールドを追加

しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送りいたします。

Ver20.325 Ver20.345 (H19.1.30)

(追加・改良)

- (1) 設備稼働パターンマスターへ「コメント自動生成フラグ」フィールドを追加  
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送りいたします。
- (2) 設備稼働パターンマスターへ「コメント自動生成コメント」フィールドを追加  
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送りいたします。
- (3) 設備稼働パターンマスターへ「コメント自動生成表示位置」フィールドを追加  
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送りいたします。
- (4) 設備稼働パターンマスターへ「コメント自動生成背景」フィールドを追加  
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送りいたします。
- (5) 設備稼働パターンマスターへ「コメント自動生成開始時刻」フィールドを追加  
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送りいたします。
- (6) 設備稼働パターンマスターへ「コメント自動生成終了時刻」フィールドを追加  
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送りいたします。
- (7) 設備稼働パターンマスターへ「コメント自動生成連結処理」フィールドを追加  
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送りいたします。
- (8) リソースシフトパターンマスターへ「コメント自動生成フラグ」フィールドを追加  
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送りいたします。
- (9) リソースシフトパターンマスターへ「コメント自動生成コメント」フィールドを追加  
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送りいたします。
- (10) リソースシフトパターンマスターへ「コメント自動生成表示位置」フィールドを追加  
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送りいたします。
- (11) リソースシフトパターンマスターへ「コメント自動生成背景」フィールドを追加  
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送りいたします。
- (12) リソースシフトパターンマスターへ「コメント自動生成開始時刻」フィールドを追加  
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送りいたします。
- (13) リソースシフトパターンマスターへ「コメント自動生成終了時刻」フィールドを追加  
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送りいたします。
- (14) リソースシフトパターンマスターへ「コメント自動生成連結処理」フィールドを追加  
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送りいたします。
- (15) ポップアップメニューの名称変更  
旧:「ユーティリティ - その他 - マスター自動生成」  
新:「ユーティリティ - その他 - 自動生成」
- (16) 「ユーティリティ - その他 - 自動生成 - コメント自動生成...」コマンドの追加。  
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送りいたします。

Ver20.308 Ver20.325 (H19.1.24)

(追加・改良)

- (1) 「ユーティリティ - その他 - テーブル - メイン生産パターンの変更...」コマンドの追加  
製品のメインの生産パターンを変更します。
- (2) 半製品・製品間工程間リソースのバリデーション強化(レベル2)

- ( 3 ) スケジューリング優先順位へ「一連オーダー最遅仕上日(先頭)(月)」を追加  
一連オーダー最遅仕上日(先頭)の年月を比較します。
- ( 4 ) スケジューリング優先順位へ「一連オーダー最遅仕上日(先頭)(旬 2)」を追加  
一連オーダー最遅仕上日(先頭)の年月旬 2 (前半、後半)を比較します。
- ( 5 ) スケジューリング優先順位へ「一連オーダー最遅仕上日(先頭)(旬 1)」を追加  
一連オーダー最遅仕上日(先頭)の年月旬 1 (上旬、中旬、下旬)を比較します。
- ( 6 ) スケジューリング優先順位へ「一連オーダー最遅仕上日(先頭)(週)」を追加  
一連オーダー最遅仕上日(先頭)の年月週を比較します。
- ( 7 ) スケジューリング優先順位へ「一連オーダー最遅仕上日(先頭)(1/2 週)」を追加  
一連オーダー最遅仕上日(先頭)の年月週 (1/2 週単位)を比較します。
- ( 8 ) スケジューリング優先順位へ「一連オーダー最遅仕上日(先頭)(日)」を追加  
一連オーダー最遅仕上日(先頭)の年月日を比較します。
- ( 9 ) スケジューリング優先順位へ「一連オーダー最遅仕上日(最終)(月)」を追加  
一連オーダー最遅仕上日(最終)の年月を比較します。
- ( 10 ) スケジューリング優先順位へ「一連オーダー最遅仕上日(最終)(旬 2)」を追加  
一連オーダー最遅仕上日(最終)の年月旬 2 (前半、後半)を比較します。
- ( 11 ) スケジューリング優先順位へ「一連オーダー最遅仕上日(最終)(旬 1)」を追加  
一連オーダー最遅仕上日(最終)の年月旬 1 (上旬、中旬、下旬)を比較します。
- ( 12 ) スケジューリング優先順位へ「一連オーダー最遅仕上日(最終)(週)」を追加  
一連オーダー最遅仕上日(最終)の年月週を比較します。
- ( 13 ) スケジューリング優先順位へ「一連オーダー最遅仕上日(最終)(1/2 週)」を追加  
一連オーダー最遅仕上日(最終)の年月週 (1/2 週単位)を比較します。
- ( 14 ) スケジューリング優先順位へ「一連オーダー最遅仕上日(最終)(日)」を追加  
一連オーダー最遅仕上日(最終)の年月日を比較します。

Ver20.287 Ver20.308 (H19.1.15)

(追加・改良)

- ( 1 ) スケジューリング画面へ「割付順序を強制する」チェックボタンを追加。  
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送りいたします。

Ver20.270 Ver20.287 (H19.1.10)

(追加・改良)

- ( 1 ) 生産パターンマスターへ「カスタマイズ」フィールドを追加。  
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送りいたします。

Ver20.255 Ver20.270 (H18.12.29)

(追加・改良)

- ( 1 ) 工程名称マスターへ「カスタマイズ」フィールドを追加。  
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送りいたします。

Ver20.142 Ver20.254 (H18.12.26)

(追加・改良)



\*\*\*\*\* 重 要 \*\*\*\*\*

- ( 1 ) シリーズリストへ「前切替詳細情報」フィールド(テーブル型)を追加  
「最早開始日」フィールドの前に挿入しました。
  - ( 2 ) シリーズリストへ「後切替詳細情報」フィールド(テーブル型)を追加  
「優先順位」フィールドの前に挿入しました。
  - ( 3 ) 工程名称マスターへフィールド名称変更  
旧:「リソース取得」 新:「リソース取得タイプ(生産)」
  - ( 4 ) 工程名称マスターへ「リソース取得タイプ(前切替)」フィールドを追加  
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送りいたします。
  - ( 5 ) 工程名称マスターへ「リソース取得タイプ(後切替)」フィールドを追加  
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送りいたします。
- \*\*\*\*\*
- ( 6 ) 初期設定「その他7」タブへ以下を追加。  
「切替 生産最大空き可能時間は、設備カレンダーで計算する」  
現状は「No」の状態です。24時間カレンダーで計算されます。  
「Yes」にすると設備カレンダーの稼働時間で計算されます。
  - ( 7 ) ガントチャート編集メニューへ「情報表示 - 設備割付情報表示...」コマンドを追加  
選択した設備のスケジューリング割付情報を表示します。

Ver20.121 Ver20.142 (H18.12.22)

(追加・改良)

- ( 1 ) テーブルポップアップウィンドウへツールバーを追加。

Ver20.115 Ver20.121 (H18.12.20)

(追加・改良)

- ( 1 ) 中間体マスターのバリデーション強化  
複数設備割付機能の設定に関するバリデーション強化
- ( 2 ) 原材料マスターのバリデーションメッセージの細分化・詳細化  
半製品・製品間工程間リソース情報に関するメッセージ細分化・詳細化
- ( 3 ) 「スケジューリング - 割付評価表示」の評価項目へ以下を追加 (APSのみ表示)
  - ・納期遅れ受注情報件数
  - ・納期遅れ受注情報割合
- ( 4 ) 以下のマクロコマンドを追加  
「ACCESS\_FILE\_EXE」  
書式: ACCESS\_FILE\_EXE 引数 1 (Access ファイル名)  
Access を起動して、引数 1 で指定したファイルを開きます。  
実行するには、Access2000 以上がインストールされている必要があります。
- ( 5 ) 以下のマクロコマンドを追加  
「EXIT\_MACRO\_IF\_LATE\_RECEIVE\_INFO\_NOT\_EXIST」  
書式: EXIT\_MACRO\_IF\_LATE\_RECEIVE\_INFO\_NOT\_EXIST 引数 1  
引数 1: 出力メッセージ (半角スペースを入れないで下さい。)  
カレントのシミュレーションで納期遅れの受注情報が存在しない場合、

マクロを中断します。ただし、出荷済み / 納品済みの受注情報は対象外となります。  
引数 1 が指定されている場合は、引数 1 をメッセージとして出力して終了します。  
引数 1 が省略されている場合は、メッセージを出力せずに終了します。  
ヒント：納期遅れ受注情報がある場合のみ、残業のカレンダーの取込みを  
実施して再スケジュールリング等の連続処理が可能となります。

( 6 ) 以下のマクロコマンドを追加

「GOTO\_IF\_LATE\_RECEIVE\_INFO\_NOT\_EXIST」

書式：GOTO\_IF\_LATE\_RECEIVE\_INFO\_NOT\_EXIST 引数 1

引数 1：ジャンプ先ラベル（半角スペースを入れないで下さい。）

カレントのシミュレーションで納期遅れの受注情報が存在しない場合、ジャンプ  
先ラベルへジャンプします。ただし、出荷済み / 納品済みの受注情報は対象外と  
なります。

ただし、ジャンプ先ラベルは同一マクロファイルで、且つ、本マクロコマンド  
よりも下位の行へ定義されている必要があります。ラベルは、大文字・小文字が  
区別されません。ラベルの先頭文字は、必ず「:」(コロン)にして下さい。

ヒント：納期遅れ受注情報がある場合のみ、残業のカレンダーの取込みを  
実施して再スケジュールリング等の連続処理が可能となります。

Ver20.108 Ver20.115 (H18.12.11)

(追加・改良)

( 1 ) 「スケジュールリング - 割付評価表示」の評価項目へ以下を追加

- ・納期遅れオーダー件数 (製品)
- ・納期遅れ割合 (製品)
- ・総生産時間
- ・平均オーダー生産時間

( 2 ) 以下のマクロコマンドを追加

「EXIT\_MACRO\_IF\_LATE\_PRODUCT\_ORDER\_NOT\_EXIST」

書式：EXIT\_MACRO\_IF\_LATE\_PRODUCT\_ORDER\_NOT\_EXIST 引数 1

引数 1：出力メッセージ（半角スペースを入れないで下さい。）

カレントのシミュレーションで納期遅れの製品オーダーが存在しない場合、  
マクロを中断します。ただし、固定されている製品オーダー、実績が入力されて  
いる製品オーダー、半製品オーダーは納期遅れ対象外となります。

引数 1 が指定されている場合は、引数 1 をメッセージとして出力して終了します。

引数 1 が省略されている場合は、メッセージを出力せずに終了します。

ヒント：納期遅れ製品オーダーがある場合のみ、残業のカレンダーの取込みを  
実施して再スケジュールリング等の連続処理が可能となります。

( 3 ) 以下のマクロコマンドを追加

「GOTO\_IF\_LATE\_PRODUCT\_ORDER\_NOT\_EXIST」

書式：MACRO\_IF\_LATE\_PRODUCT\_ORDER\_NOT\_EXIST 引数 1

引数 1：ジャンプ先ラベル（半角スペースを入れないで下さい。）

カレントのシミュレーションで納期遅れ製品オーダーが存在しない場合、ジャンプ  
先ラベルへジャンプします。ただし、固定されている製品オーダー、実績が入力

されている製品オーダー、半製品オーダーは納期遅れ対象外となります。  
ただし、ジャンプ先ラベルは同一マクロファイルで、且つ、本マクロコマンド  
よりも下位の行へ定義されている必要があります。ラベルは、大文字・小文字が  
区別されません。ラベルの先頭文字は、必ず「:」(コロン)にして下さい。  
ヒント：納期遅れ製品オーダーがある場合のみ、残業のカレンダーの取込みを  
実施して再スケジューリング等の連続処理が可能となります。

Ver20.0 Ver20.108 (H18.12.7)

(追加・改良)

- (1) 製品、中間体に関する以下のグラフのリニア表示  
生産量グラフ、生産量累計グラフ、  
(中間体の「仕上りタイプ」が「リニア」の場合です。)  
消費量グラフ、消費量累計グラフ、在庫量グラフ  
(消費側の中間体の「仕上りタイプ」が「リニア」の場合です。)
- (2) 消費量グラフ、消費量累計グラフ、在庫量グラフで「計画情報参照」を選択の場合、  
製品の場合は、受注情報の納期より計算されるようにした。  
「計画情報参照」を選択の場合、納期割れでマイナス表示されるようになります。
- (3) COM 機能「IPlanWzd」へ以下のメソッドを追加  
・GetGroupSetTable /No  
INo{0(M),1(S1),2(S2),3(S3)} で指定したグループ設定リストを取得します。
- (4) COM 機能「IPlanWzd」へ以下のメソッドを追加  
・SetActiveWindow  
PlanWizard のウィンドウをアクティブにします。
- (5) PlanWizard.tlb を添付します。

この他のバージョンアップ履歴に関しては、以下のリンクをご覧ください。

[APS/生産スケジューリングシステムPlanWizard](#)

[過去のバージョンアップ詳細履歴とリリース情報](#)

カタログ・製品紹介CDのお申込みは [こちら](#) から

[株式会社ウィザードシステム研究所](#)